

# 2006年全日本武術太極拳競技大会

## 開催要綱

(社)日本武術太極拳連盟

### 開催趣旨：

武術太極拳の競技力の向上を旨として、この大会は国際競技用規定套路(規定演技)と新国際競技ルールに基づく自選難度套路の種目を、日本のトップレベルの選手が競います。大会を通して、選手の競技力向上と若手選手層の発掘・養成を図り、規定種目の審判技術の向上を図ります。大会の成績優秀者のなかから、2006年度第1次強化指定選手を選抜・指定します。

1. 日時： 2006年4月8日(土)・9日(日)  
(自選難度部門の一部の競技に限り8日(土)に実施する。それ以外の従来の競技はすべて9日(日)に実施する。)
2. 会場： 大阪府守口市・守口市民体育館
3. 主催： (社)日本武術太極拳連盟
4. 主管： 大阪府武術太極拳連盟
5. 後援(予定)： 文部科学省、(財)日本オリンピック委員会、(財)日本体育協会  
アジア武術連盟、大阪府、大阪市、等
6. 特別協賛：
7. 協賛：
8. 競技種目： 下記の競技用規定套路で男女別個人競技を実施する。

### 自選難度部門

1. 太極拳(含む器械)	強化指定選手で、選手強化委員会の指名を受けた選手のみ。 下記の規定競技部門に出場する選手はこの部門に出場することはできない。	3分以上4分以内
2. 南拳(含む器械)		1分20秒以上2分以内
3. 長拳(含む器械)		同上

### 規定競技部門

4. 総合太極拳C	第22回全日本選手権大会「総合太極拳C」の入賞者で満29歳以下の選手 都道府県推薦選手で満29歳以下の選手	5分以上 6分以内
5. 24式太極拳	第22回全日本選手権大会「24式太極拳C」の入賞者で満22~19歳、又は大学生 都道府県推薦選手で満22~19歳、又は大学生	4分以上 6分以内
6. 42式太極剣C	4.「総合太極拳C」に出場する選手のみがエントリーできる	3分以上 4分以内
7. 南拳	国際規定套路。第22回全日本選手権大会の男子南拳16位以内、女子南拳5位以内の選抜選手、および都道府県推薦選手	1分20秒以上 2分以内
8. 南刀	国際規定套路。7.南拳に出場する選手のみがエントリーできる。南刀、南棍の2種目に出場してもよく、あるいはどちらか1種目でも出場可	同上
9. 南棍		同上
10. 長拳A	国際第二套路。第22回全日本選手権大会の男子長拳A25位以内、女子長拳A12位以内、男子長拳B10位以内、女子長拳B5位以内の選抜選手、および都道府県推薦選手	同上
11. 剣術A	国際第二套路。10.長拳Aに出場する選手のみがエントリーできる。短器械(剣術または刀術)と長器械(棍術または槍術)の2種目に出場してもよく、あるいは、短器械または長器械のどちらか1種目でも出場可	同上
12. 刀術A		同上
13. 棍術A		同上
14. 槍術A		同上

9. 出場選手：「選抜選手」と「都道府県推薦選手」が出場できる

A) 選抜選手；

第22回全日本選手権大会に出場して下記の上位成績を得た選手は、本大会に「選抜選手」として出場することができる。

但し、年齢規定のある種目は、大会開催年の4月1日現在の満年齢が年齢制限の条件を満たしていなければならない（「選抜選手一覧表」参照）。

男子総合太極拳C	上位	2人	女子総合太極拳C	上位	5人
男子24式太極拳C	上位	6人	女子24式太極拳C	上位	7人
男子南拳		16人	女子南拳		5人
男子長拳A		25人	女子長拳A		12人
男子長拳B		10人	女子長拳B		5人

1. 上記 総合太極拳Cは、第22回全日本選手権大会の総合太極拳Cの入賞選手で、2006年4月1日現在の満年齢が29歳以下の選手が「選抜選手」となる。
2. 上記 24式太極拳は、第22回全日本選手権大会の24式太極拳Cの入賞選手で、2006年4月1日現在の満年齢が22~19歳または、2006年4月2日現在の学籍が大学生の選手が「選抜選手」となる。
3. 上記 男子南拳は上記大会の「南拳」における得点の上位16位までの選手を「選抜選手」とする。
4. 上記 女子南拳は上記大会の「南拳」における得点の上位5位までの選手を「選抜選手」とする。
5. 上記 男子長拳Aは、上記大会「長拳A」における得点の上位25位までの選手を「選抜選手」とする。
6. 上記 女子長拳Aは、上記大会「長拳A」における得点の上位12位までの選手を「選抜選手」とする。
7. 上記 男子長拳Bは、上記大会「長拳B」における得点の上位10位までの選手を「選抜選手」とし、本大会「長拳A」に出場することができる。
8. 上記 女子長拳Bは、上記大会「長拳B」における得点の上位5位までの選手を「選抜選手」とし、本大会「長拳A」に出場することができる。

B) 都道府県推薦選手；

- 1) 都道府県連盟から1人の「推薦選手」を出場させることができる。
- 2) 2004年第21回全日本選手権大会(東京)または2005年第22回全日本選手権大会(東京)のいずれかの大会に参加した実績のある都道府県連盟は、上記1)以外にも1人の「推薦選手」を出場させることができる。
- 3) 都道府県連盟は、
  - 太極拳種目では、総合太極拳Cには、満29歳以下(2006年4月1日現在)の選手、24式太極拳には、満22~19歳(2006年4月1日現在)または大学生(2006年4月2日現在)の選手を「養成部門選手」として、どちらかの種目に1人にかぎり別途推薦して、出場させることができる。
  - 南拳種目(7.~9.)および長拳種目(10.~14.)に、満20歳以下(2006年4月1日現在)の選手を「養成部門選手」として、1人にかぎり別途推薦して出場させることができる。

10. エントリ - 種目の制限：

第14回ジュニアオリンピックカップに出場する選手は、本大会に出場することはできない。  
但し、ジュニアオリンピックカップの「ジュニア太極拳1」「ジュニア太極拳2」に出場する選手に限り、本大会にも出場できることとする。

1) 選手は下記に基づいて、1種目または複数種目にエントリーすることができる。

太極拳種目；

第22回全日本選手権大会の総合太極拳Cの入賞者 = 選抜選手、および都道府県推薦選手は、本大会の4.総合太極拳Cに出場することができ、また、6.42式太極剣Cに出場することもできるが、42式太極剣Cだけに単独出場することはできない。

24式太極拳に出場する選手が42式太極剣Cに出場することはできない。

太極拳の選抜選手が、南拳種目、長拳種目に出場することはできない。

南拳種目；

第22回全日本選手権大会の男子南拳16位以内、女子南拳5位以内の選手 = 選抜選手、および都道府県推薦選手は、本大会の7.南拳に出場でき、また、8.南刀および9.南棍にも出場することができる。7.南拳に出場しないで、8.南刀または9.南棍に出場することはできない。

南拳の選抜選手が、長拳種目、太極拳種目に出場することはできない。

長拳A種目；

第22回全日本選手権大会の男子長拳A25位以内、女子長拳A12位以内、男子長拳B10位以内、女子長拳B5位以内の選手 = 選抜選手、および都道府県推薦選手は、本大会の10.長拳Aに出場することができ、また、短器械(剣術Aまたは刀術A)と長器械(棍術Aまたは槍術A)の2種目に、あるいは、短器械または長器械のどちらか1種目に出場することができる。

10.長拳Aに出場しないで、短器械または長器械に出場することはできない。

長拳A・Bの選抜選手は、南拳種目、太極拳種目に出場することはできない。

11. 出場申込期限：2006年1月31日(火)

出場申込書と出場料が、上記期日までに日本連盟(東京)に必着のこと。

12. 選手出場料：

A)「選抜選手」は、1人1種目 = 1,000円

B)都道府県連盟推薦選手は、1人1種目 = 3,000円

団体分担金は不要。

13. 服装規定：

選手は連盟が指定する競技用ユニフォームを着用し、同ユニフォームの背面に指定されたゼッケンを付けて競技を行う。服装とゼッケンが規定に従っていない場合、その選手の出場を取り消す。指定ユニフォームの製作・購入については別途案内する。(申込期限=2006年1月15日)

14. 競技運営：

4月8・9日の日程で予選無しの決勝競技を行い、各種目の上位3人を入賞者として表彰する。

15. 審判方法：

- 1)「規定競技部門」は国際武術連盟が定めた「1999年国際武術競技ルール」に基づいて行う。  
「自選難度部門」は国際武術連盟が定めた「2003年国際武術競技ルール(試行)」に基づいて行う。
- 2) 競技は、3コートで行う。太極拳は2人同時に演技する。各コートに1人の審判長と5人の執行審判員、1人以上の套路検査審判員を設ける。
- 3) 総審判長、副総審判長各1人を設ける。
- 4) 監査委員会と監査委員を設ける。
- 5) 上記の審判員は全て、日本連盟公認審判員が担当する。

16. 表彰：

男女各競技種目の上位3人を表彰する。

17. 入場料金：

本大会の観覧入場料は無料とする。

18. 日程 (予定):

- < 選手日程 > 4月8日(土) ジュニアオリンピックカップ競技  
自選難度競技部門の一部の競技(時間未定)  
18:00~20:00 選手練習
- 4月9日(日) 9:00~9:30 選手登録  
9:30~10:00 開会式  
10:00~16:00 競技  
16:00~16:30 表彰式・閉会式
- < 審判日程 > 4月8日(土) 8:00~19:00 一部の自選難度競技審判業務  
審判員研修およびジュニアオリンピックカップ審判業務
- 4月9日(日) 10:00~16:00 競技審判業務

19. 宿舎:

希望者は、同封の宿泊案内を参照し、別添の「宿泊申込書」を下記のホテルに直接送付して申し込む。日本連盟は「宿泊申込書」を受理しないので注意されたい。

ホテル京阪天満橋

〒540-0012 大阪府大阪市中央区谷町1丁目2-10 電話: 06-6945-0321 FAX: 06-6945-1102  
担当: 池内公司

以上

連絡先(出場申込み先): 社団法人日本武術太極拳連盟

〒102-0085 東京都千代田区六番町9 九番館ビル2F  
TEL 03(3265)9494 FAX 03(3265)9550

主管団体連絡先: 大阪府武術太極拳連盟

〒550-0023 大阪府大阪市西区千代崎3-中2-1 大阪ドーム7F  
TEL 06(6585)2812 FAX 06(6585)2813

## 守口市民体育館

〒570-0038 大阪府守口市河原町57-2 TEL(06)6992-8201(代表)

交通: 京阪電車「守口市駅」下車 徒歩2分

地下鉄谷町線「守口駅」下車 徒歩10分